

平成 17 年 4 月 1 日

プロセストライボロジー分科会委員各位

主査 堂田 邦明

プロセス・トライボロジー分科会 平成 17 年度総会
および第 107 回研究会(見学付き)のご案内

貴社益々御盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当分科会事業に御理解ならびに御協力頂きありがとうございます。

さて、第 107 回の研究会を下記の予定で開催します。熱間圧延のトライボロジーに関する話題提供と研究室見学となっております。御参加頂けますようご案内申し上げます。

(代理の委員の方でも結構です。)

日 時：平成 17 年 5 月 16 日(月) 13:00~16:30

会 場：横浜国立大学 共同研究推進センター セミナー室(2 階)

(http://www.ynu.ac.jp/ynu/map/3_2.html)

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5, TEL: 045-339-3835

交 通：横浜駅(西口)のバス停 9 番乗場より相鉄バスに乗りし、「ひじりが丘」にて下車。徒歩 2 分。

(<http://sotetsu.ekiworld.net/dia/jikoku/jikoku005072003.html>, バス乗車時間は 20 分です)

1. 総 会 (13:00~13:45)

・主査挨拶, 平成 16 年度事業・決算報告, 平成 17 年度事業案・予算案審議

(休憩 10 分)

2. 第 107 回研究会 「熱間圧延におけるトライボロジー」

(1) 話題提供 45 分 × 2 題(質疑 10 分程度含む) (13:55~15:25)

(1-1) 「SRV 試験機による熱間圧延油の潤滑性の新しい評価方法」

横浜国立大学 Xue Wei-dong

超微細粒鋼を製造するためには低温で強圧下する必要がある, 咬み込み性が良く, 圧延中の圧延荷重が低いことが望まれる. そのような新しい圧延油を開発するために SRV 摩擦摩耗試験機を用いて熱間圧延油の摩擦係数の評価を行った.

(1-2) 「熱間潤滑特性に及ぼす圧延油および圧延条件の影響」

JFE スチール(株) 蛭田 敏樹

合成エステルを基油とする圧延油は優れた潤滑性を示すが, 圧延条件によって潤滑状態は変化する. 潤滑性の優れた圧延油を使用することは重要であるが, ロールバイトに供給される油量を十分確保するための設備的な検討も重要である.

(休憩 10 分)

(2) 研究室見学と質疑応答 (15:35~16:30)

??

申込先: zgwang@cc.gifu-u.ac.jp FAX: 058-293-2516

(1) 御氏名, (2) ご所属, もし連絡先(住所, 電話, ファックス, e-mail)が変更されていまして, お知らせ下さい.)

申込締切: 5月9日 17:00

(別紙1)

平成17年 4月 日

FAX 058-293-2516

E-mail : zgwang@cc.gifu-u.ac.jp

岐阜大学工学部

機械システム工学科

王 志剛宛

プロセスライポロジー分科会
第107回研究会 参加申込票

申込締切：5月9日(月)

所 属 学校名・会社名等	出席者名	部 署 名	役 職	電 話 番 号 (市外局番も記入)